



金透坂



令和6年 11月 8日(金) 学校だよりNo.34 発行責任者 校長 嶋 忠夫

ようこそ郡山へ!ブルメン市副市長さんがおいでになりました!

10月31日、郡山市制施行100周年記念式典のために来日された姉妹都市であるブルメン市のイングリッド・ティマー副市長とヤセミン・セゲレク副市長が本校を訪問してくださいました。

はじめに、校長と日本の教育システムや本校の教育活動について懇談しました。私は残念ながらオランダ語は話せませんので、通訳のポールさんを介して懇談しました。

その後、ブルメン市が郡山市と姉妹都市になったきっかけである安積疏水を学習した4年生との交流を行いました。安積疏水について学んだことや市制100周年を迎えた郡山市の紹介などをグループごとに発表しました。英語を使って発表することも上手にできて、驚きました。副市長さんにも大変喜んでいただきました。最後は、子どもたちがプレゼントとして準備していた折り紙の作品をお渡ししました。子どもたちにとって貴重な交流となりました。



ちょっといい話

11月2日に、けんしん郡山文化センターにて、「郡山市制施行100周年記念式典」が盛大に開催されました。ブルメン市の副市長さんとともに、本校からは6年生の〇〇〇〇さんと〇〇〇〇さんが学校代表で参加しました。その中で、小中学校の代表の子どもたちから、未来のこおりやまに向けた提言がなされました。未来を担う子どもたちからの提言は素晴らしいもので、とても頼もしく感じました。興味のある方は郡山市公式 YouTube でご覧ください。

台湾の小学生と4年2組が交流しました!

ブルメン市の副市長さんとの交流をした翌日の11月1日に、今度は4年2組の子どもたちが台湾の螢橋國小学校の子どもたちとオンラインで交流をしました。今年、8月に教育長さんが台湾に公務でお出かけになった際に、台湾の小学校から郡山市の小学校と交流をしたいという要望があがり、今回、実現しました。



はじめに台湾の小学校から、台湾や学校の紹介、そして数名の児童の自己紹介がありました。日本語ができる方が通訳してくださいました。そして、本校の子どもたちも、日本や郡山市の紹介を英語で行いました。こちらも国際政策課の七海様に通訳をしていただきました。中でも、〇〇さんは、お父さんから中国語を習い、中国語であいさつを上手にしているみんなを驚かせていました。

オランダの副市長さんや台湾の小学生との交流を通して、子どもたちは、もっと交流したい、外国に行ってみたい、通訳の人ってすごいなど、たくさん感想をもちました。また、相手がどう思うか、どう理解してくれるかを考えて接することの大切さも学ぶことができました。以下、子どもたちの感想を紹介します。

オランダと台湾との交流について 〇〇 〇〇

最初は、オランダとの交流について書きます。ぼくはオランダの副市長さん2人が来ると聞いて、ドキドキしました。そして、ぼくたちのチームが郡山のことを発表する時は、すごくきんちょうしました。郡山のしょうかいを英語でしました。ぼくたちの英語がたわわっているのかなと思いましたが、たわわっていてとてもうれしかったです。最後に、折り紙のプレゼントをわたせてよかったです。

次に、台湾との交流について書きます。台湾の学校が昨日、台風で休校になったと先生に聞いてびっくりしました。でも、予定どおり交流できて、ぼくは安心しました。ぼくは、オランダのときの交流みたいにドキドキしました。でも、発表ができてよかったです。台湾の人たちが少し日本語を話していてすごいなと思いましたが、また、台湾の学校では教室の黒板を開くとモニターになっていてびっくりしました。

国さい交流を終えて 〇〇 〇〇

「はあ、終わった・・・。」

これが私の国さい交流を終えての一番の感想です。自分の用意した文章を英語で話すことが決まってから、私はとても不安でした。なぜなら、自分の伝えたいことが相手に英語できちんと伝えられるか心配だったからです。もし、私の言いたいことが伝えられなければ国さい交流は成立しません。今回は、自分とあまり関わりのない他国の人たちに伝えます。だからこそ、より正しい日本の情報を伝えたいと思っていました。他の国の人をがっかりさせたくないからです。終わってみて、うまく伝わったか自信はありませんが、ほっとしました。

台湾の紹介を聞く時間はうきうきして心がおどりました。おすすめの食べ物として、「ショーロンポウ」や「パイナップルゼリー」が挙げられていました。私はショーロンポウが大好きで、時々中華料理屋さんで食べます。しかし、台湾へいったことはないの、台湾へ行き、ショーロンポウを食べてみたいです。そして、日本で食べるショーロンポウとどんなところが違うか味わってみたいと思いました。